

## 健康経営に関する各種指標

株式会社肥後銀行

### 実績・目標

各種指標	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2027年度 目標
<b>◆生活習慣病予防</b>					
定期健康診断受診率【※1】	100%	100%	100%	100%	100%
精密検査受診率【※2】	94.7%	97.0%	96.8%	98.6%	99%
喫煙率【※3】	18.0%	15.9%	15.6%	15.7%	13%
運動習慣者比率【※4】	21.9%	26.5%	27.1%	27.2%	30%
運動会参加者数【※4】	コロナにより中止	コロナにより中止	759名	1,018名	1,200名
特定健康診査実施率	87.3%	87.3%	89.1%	89.7%	90%
特定保健指導実施率	58.9%	57.4%	56.1%	61.1%	65%
健康診断有所見者率	65.9%	69.9%	68.3%	69.3%	65%
傷病による休職者数	2名	4名	6名	7名	4名
ハイリスク者の管理率	50.0%	52.7%	55.8%	54.7%	60%
ハイリスク者への保健指導実施率	82.4%	73.5%	62.1%	48.4%	65%
<b>◆メンタルヘルス対策</b>					
ストレスチェック受検率	88.9%	94.2%	87.3%	95.3%	97%
高ストレス者率	—	0.4%	0.6%	0.5%	0.3%
<b>◆ワークライフバランス推進</b>					
年次有給休暇取得率	70.5%	76.3%	74.6%	82.0%	85%
育児休業取得率	100%	100%	100%	100%	100%
女性管理職比率【※5】	10.3%	11.2%	12.6%	14.1%	20%
女性役席者比率【※5】	23.3%	34.3%	35.1%	36.7%	42%
一月当たりの労働者の平均残業時間	14時間	14時間	13時間	6時間	5時間以内
平均勤続年数【※6】	16.3年	16.2年	16.3年	16.4年	16.5年
<b>◆業務パフォーマンス・ヘルスリテラシー向上</b>					
アブゼンティーズム【※7】	2.9日	2.9日	3.3日	3.0日	2.5日
プレゼンティーズム【※8】	—	—	6.2点	6.1点	6.5点
エンゲージメント【※9】	—	—	70点	70点	72点
eラーニング実施率【※10】	—	—	90.3%	90.6%	95%
<b>◆労働安全衛生</b>					
労働災害件数【※11】	38件	35件	25件	25件	20件

#### 〈生活習慣病予防〉

【※1】「健康管理システム」導入により、健康データ（健診・人間ドック結果等）を一元管理し、従業員自身にもデータ推移を可視化することで、健康意識の向上に取り組んでおります。

[投資額]健康診断・人間ドック・がん検診への費用補助総額：約1億円（2022年度）、健康管理システム開発費：約17百万円

【※2】全行一体となって精密検査受診率向上に取り組んだ結果、2014年度の38%から大幅に上昇し、近年は95%を超える高水準を維持しております。

【※3】2009年度の喫煙率は21.2%でしたが、2010年より開始した禁煙施策の効果により、低下傾向にあります。

【※4】熊本県推奨の「くまもとスマートライフアプリ」を活用したウォーキングコンペおよび運動会開催等により、従業員の運動習慣定着が図られ、運動習慣比率は上昇しております。

#### 〈ワークライフバランス推進〉

【※5】女性管理職・役席者比率は、翌年度4月1日時点の比率

【※6】平均勤続年数は、正行員対象

#### 〈業務パフォーマンス・ヘルスリテラシー向上〉

【※7】[測定方法]傷病休職制度の利用日数の全従業員平均

【※8】[測定方法]全従業員に対し東大式（一部修正）による自己申告による調査・分析を実施し、全社平均を10点評価に変換して表示  
2022年度：[測定人数]2,506名、[回答率]95.1%

【※9】[測定方法]年3回調査を実施し、9分野(職務、自己成長、健康、支援、人間関係、承認、理念戦略、組織風土、環境)に関する32の質問に対して、全従業員が7段階で回答したものを点数化し、平均スコアを把握（100点満点、業界平均69点）  
2022年度：[測定人数]2,506名、[回答率]95.1%

【※10】eラーニングは、ヘルスリテラシー向上、女性の健康課題に関する知識含む

#### 〈労働安全衛生〉

【※11】人的リスク管理部会・衛生委員会を月1回、リスク管理委員会を2カ月に1回開催

テーマ例：労働時間、健康管理、退職、労災等